

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：下保 修

事業名	一般国道278号 鹿部道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北海道開発局																											
起終点	自：北海道茅部郡鹿部町字大岩 至：北海道茅部郡鹿部町字本別	延長	7.7km																													
事業概要	<p>一般国道278号は、函館市から鹿部町を經由して森町に至る延長11.4kmの幹線道路である。 鹿部道路は、内浦湾に面して発展している鹿部町市街を通過する国道278号の狭小幅員や線形不良区間を解消し道路交通機能を改善するとともに、市街地の交通安全を図る事を目的とした延長7.7kmのバイパス事業である。</p>																															
H10年度事業化	H一年度都市計画決定	H13年度用地着手	H14年度工事着手																													
全体事業費	66億円	事業進捗率	26%	供用済延長	0km																											
計画交通量	1,900~3,800台/日																															
費用対効果分析結果	<table border="1"> <tr> <td>B/C</td> <td>(事業全体)</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(残事業)</td> <td>1.5</td> </tr> </table>	B/C	(事業全体)	1.2		(残事業)	1.5	<table border="1"> <tr> <td>総費用</td> <td>(残事業)/(事業全体)</td> <td>59/77億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事業費</td> <td>42/60億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持管理費</td> <td>17/17億円</td> </tr> </table>	総費用	(残事業)/(事業全体)	59/77億円		事業費	42/60億円		維持管理費	17/17億円	<table border="1"> <tr> <td>総便益</td> <td>(残事業)/(事業全体)</td> <td>92/92億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>走行時間短縮便益</td> <td>86/86億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>走行費用減少便益</td> <td>3.7/3.7億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>交通事故減少便益</td> <td>2.0/2.0億円</td> </tr> </table>	総便益	(残事業)/(事業全体)	92/92億円		走行時間短縮便益	86/86億円		走行費用減少便益	3.7/3.7億円		交通事故減少便益	2.0/2.0億円	基準年	平成19年
B/C	(事業全体)	1.2																														
	(残事業)	1.5																														
総費用	(残事業)/(事業全体)	59/77億円																														
	事業費	42/60億円																														
	維持管理費	17/17億円																														
総便益	(残事業)/(事業全体)	92/92億円																														
	走行時間短縮便益	86/86億円																														
	走行費用減少便益	3.7/3.7億円																														
	交通事故減少便益	2.0/2.0億円																														
感度分析の結果	<p>残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=1.7（交通量 +10%） B/C=1.4（交通量 -10%） 事業費変動：B/C=1.5（事業費 +10%） B/C=1.7（事業費 -10%） 事業期間変動：B/C=1.5（事業期間+20%） B/C=1.6（事業期間-20%）</p>																															
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する） 安全な生活環境の確保（通学路において、歩道の無い区間に歩道が設置される） 物流効率化の支援（農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる） <p>他4項目に該当</p>																															
関係する地方公共団体等の意見	<p>水産業・観光をはじめとした主要産業を支える産業経済道路として路線整備が期待されており、鹿部町をはじめとする関係2市9町の首長および議会議長で構成される北海道渡島総合開発期生会他より早期整備の要望を受けている。</p>																															
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>平成13年函館新道開通。平成18年北海道縦貫自動車道・国縫IC~八雲IC供用開始。 平成18年当該道路区間がシーニックバイウェイ北海道のルートに指定される。</p>																															
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>平成14年度より工事に着手し、用地進捗率63%、事業進捗率26%となっている。</p>																															
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<p>引き続き事業が順調に進んだ場合、平成20年代中頃の事業完了を予定している。</p>																															
施設の構造や工法の変更等	<p>橋梁計画の見直しや土配計画の見直しによる縦断線形等の見直しによりコストの縮減を図っている。</p>																															
対応方針	事業継続																															
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。																															
事業概要図	<p>鹿部道路 L=7.7km</p> <p>新折戸沢川橋 L=24m 新折戸川橋 L=26m 新常路川橋 L=52m 新鹿部橋 L=52.2m</p> <p>至函館 大岩 太平洋 本別漁港 至森</p> <p>（自）北海道茅部郡鹿部町字大岩 （至）北海道茅部郡鹿部町字本別</p>																															

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。